

2021年度事業報告 及び決算報告



公益社団法人
日本人間ドック学会

目次

(事業報告)

I. 序章	2
1. 事業計画	2
2. 役員／社員／会員数等	5

(公益目的事業)

II. 第 62 回 日本人間ドック学会学術大会	6
1. 開催概要	6
2. 主要プログラム	7

III. 学会誌等	14
1. 和文誌	14
2. 英文誌	14
3. ニュースレター	14

IV. 人間ドック認定医制度	14
1. 第 23 回人間ドック認定医認定	14
2. 第 18 回人間ドック認定医更新	14

V. 人間ドック健診専門医制度	14
1. 2020 年度人間ドック健診専門医認定試験	14
2. 2021 年度人間ドック健診専門医制度 指導医・研修施設 認定数	14

VI. 人間ドック健診施設機能評価	15
1. 人間ドック健診施設機能評価 認定施設数	15
2. サーベイヤー研修会	15
3. Ver.4.0 受審準備セミナー	16

VII. 研修会・人材育成活動	16
1. 人間ドック認定医・人間ドック健診専門医の育成	16
2. 人間ドック健診情報管理指導士の育成	17
3. 遺伝学的検査アドバイザーの育成	18

(収益事業等)

VIII. 人間ドック健診施設の他団体等への紹介や指定等に関する事業	18
1. 健保連等への人間ドック実施施設指定	18
2. 特定健診特定保健指導委託集合契約事業	18
3. 風しん抗体検査および風しんの第 5 期の定期接種に係る集合契約	19
4. 新型コロナウイルス感染症の予防接種に係る委託集合契約	19
IX. その他の事業(相互扶助等事業)	19
1. 予防医療及び人間ドック学の発展に資する研究等を支援する事業	19

(決算報告) 2022 年 3 月 31 日 現在

1. 貸借対照表	1
・ 貸借対照表内訳表	2
2. 正味財産増減計算書	3
・ 正味財産増減計算書内訳表	4
・ 財務諸表に対する注記	6
3. 財産目録	7
・ 附属明細書	8

事業報告

＜事業報告＞

I. 序 章

1. 事業計画

1) 学術大会開催に関する事項

第 62 回日本人間ドック学会学術大会 (Web による配信)
配信開始：2021 年 9 月 10 日 (金) ～9 月 24 日 (金)
テ ー マ：「2020 年代の健診・予防医療を展望する
～With/After Corona 時代の変革への視座～」
学術大会長： 那須 繁 (特定医療法人財団 博愛会 理事長)

2) 研修会等開催に関する事項 (Web による配信を基本とする)

- ①人間ドック健診認定医・専門医研修会 (Web による配信)
- ②人間ドック認定医研修会 (Web による配信)
- ③人間ドック健診施設機能評価 Ver. 4.0 受審準備セミナーの開催 (Web による配信)
- ④人間ドック健診情報管理指導士研修会の開催 (Web による配信)
- ⑤人間ドック健診情報管理指導士ブラッシュアップ研修会の開催 (Web による配信)
- ⑥遺伝学的検査アドバイザー研修会 (Web による配信)
- ⑦人間ドックの日記念セミナー (WEB による配信)

3) 人間ドック認定医/人間ドック健診専門医制度に関する事項

(本学会単独事業)

- ①人間ドック認定医の認定/更新

(日本総合健診医学会との合同事業)

- ①人間ドック健診専門医試験の実施
- ②人間ドック健診専門医の認定/更新
- ③人間ドック健診指導医の (暫定) 認定/更新
- ④人間ドック健診研修施設の (暫定) 認定/更新
- ⑤セルフトレーニング問題の実施 他

4) 人間ドック健診施設機能評価に関する事項

- ①人間ドック健診施設機能評価の審査・認定
- ②健診施設支援
- ③サーベイヤーの教育・研修
- ④Ver. 5.0 作成に向けた検討
- ⑤機能評価認定施設審査結果のデータ整理・統計分析
- ⑥全国労働衛生団体連合会との腹部超音波検査の精度管理事業の共同実施

5) 人間ドック健診情報管理指導/遺伝学検査アドバイザーに関する事項

- ①人間ドック健診情報管理指導士の認定/更新
- ②遺伝学的検査アドバイザーの認定

6) 特定健診・特定保健指導等集合契約に関する事項

- ①特定健診・特定保健指導の集合契約 (集合契約 A)
- ②風しんの抗体検査および風しんの第 5 期の定期接種に係る集合契約
- ③新型コロナウイルス感染症に係る予防接種に関する集合契約
- ④その他

7)健康保険組合連合会等との指定施設に関する事項

- ①人間ドック健診施設との一日ドック・二日ドックの指定契約
- ②その他

8)広報活動に関する事項

- (1) 学会誌「人間ドック」VOL. 36 NO. 1～NO. 5 発刊予定
- (2) 英文誌「Ningen Dock International」VOL. 9 NO. 1～NO. 2 発刊予定
*英文誌の発刊については原著英論文の投稿状況に応じて年1～2回とする
- (3) 電子化し、独立行政法人科学技術振興機構（JST）が構築したJ-STAGEに搭載する
- (4) 日本人間ドック学会「ニュースレター」の発刊（年2～3回）
 - ・各種委員会活動の広報

9)委員会活動に関する事項

I. 事業活動

- ①健診施設機能評価・支援事業委員会
 - ・Ver. 5 作成WG
 - ・Ver. 4 運営WG
 - ・施設支援WG
- ②健診情報管理指導士育成事業委員会
- ③人間ドック健診専門医制度委員会(日本総合健診医学会合同)
 - ・試験問題検討・作成小委員会(合同)
 - ・認定小委員会(合同)
 - ・研修会検討小委員会(合同)
 - ・施行規則細則改定小委員会(合同)
 - ・研修プログラムカリキュラム検討作成小委員会(合同)
- ④遺伝学的検査アドバイザー育成事業委員会
- ⑤編集委員会
- ⑥健診施設実態調査委員会

II. 健診・予防医療施設の質の向上と発展を支援する活動

- ⑦健診施設の運営に関する委員会
- ⑧健診施設におけるがん検診の精度向上支援委員会
- ⑨人間ドック認定医のあり方に関する検討委員会
- ⑩健診保健師・看護師の育成に関する検討委員会

III. 健診・予防医療のシステムや有用性などを研究する活動

- ⑪女性のための健診・予防医療のあり方検討委員会
 - ・女性健診予防医療WG
- ⑫高齢者のための健診・予防医療のあり方検討委員会
- ⑬健診判定・指導マニュアル作成委員会
 - ・腹部超音波WG
 - ・乳腺WG
 - ・心電図WG
- ⑭人間ドック・健診用語集作成委員会(日本総合健診医学会合同)
- ⑮内視鏡スクリーニングのあり方検討委員会
- ⑯人間ドック・健診イノベーション創造委員会
 - ・ゲノムワイド遺伝学的検査WG/AI実装WG
 - ・リキッドバイオプシー及び新規検査検討WG

- ⑰大規模データとその活用を検討する委員会
- ⑱健診の有用性に関する研究・論文活性化委員会

IV. 健診・予防医療の制度を検討する活動

- ⑲健診予防医療制度に関する対策会議

V. その他の活動

- ⑳広報委員会
 - ㉑学術大会運営委員会
 - ㉒社員選任/役員選定委員会
 - ㉓倫理・利益相反委員会
 - ㉔学会活動に関する調査検討委員会
- その他必要とされる委員会は逐次開催する。

10) 統計・調査に関する事項

- (1) 施設会員実態調査（2020年度）実施の検討
- (2) がん症例調査(2019年度)の実施
- (3) 大規模研究調査(2020年度)人間ドック機能評価認定施設よりの電子データ
- (4) 学術委託研究に関わる研究公募（継続および新規）
- (5) その他
 - ・プライバシーマークの更新
 - ・厚労省等研究事業等に積極的に参画

11) その他

- (1) 日本総合健診医学会との連携
- (2) 人間ドック健診専門医制度の一般社団法人日本専門医機構への働き掛け
- (3) 健診団体連絡協議会へ積極的参画
- (4) 人間ドック健診の世界への普及事業、MEJ（一般社団法人Medical Excellence JAPAN）との包括的な連携
- (5) その他の活動
 - ①日本医学会加盟への働き掛け
 - ②日本医学健康管理評価協議会との連携
 - ③国際モダンホスピタルショウ等への後援
 - ④NPO 法人日本人間ドック健診協会等他団体との相互協力
 - ⑤他学会とのコラボレーションを積極的に推進

2. 役員／社員／会員数等

①役員数等	理事長	1名
	副理事長	1名
	理事	28名
	監事	2名
	(名誉理事長)	1名
	(名誉会員)	23名

②社員数 181名(内役員は 31名)

③個人会員／施設会員／賛助会員数(2022年3月31日現在)

A会員(医師)	6,015名
B会員(医師以外)	403名
C会員(施設(医療機関))	1,751施設
S会員(企業など)	30団体

④その他

・人間ドック認定医・専門医数及び指導医、研修施設数(2022年3月31日現在)	
認定医交付人数	6,017名
専門医交付人数	1,998名
研修施設数(累積認定)	336施設
指導医数(累積認定)	1,032名
暫定研修施設(指導医)数	111施設(97名)
・人間ドック健診情報管理指導士累積人数	8,885名(2022年3月31日現在)
・人間ドック健診食生活改善指導士累積人数	938名(2022年3月31日現在)
・人間ドック健診施設機能評価累積認定数	470施設(2022年3月31日現在)
・遺伝学的検査アドバイザーの累積人数	446名(2022年3月31日現在)
・一日ドック／二日ドック指定数(2022年3月31日現在)	
一日ドック	195施設
一日ドック・二日ドック両方	181施設

(公益目的事業)

Ⅱ. 第 62 回日本人間ドック学会学術大会

1. 開催概要

1. 開催日程 オンデマンド配信：2021年9月10日（金）～24日（金）
2. 開催会場 WEB 開催
3. 学術大会長 那須 繁（日本人間ドック学会 総務担当理事／特定医療法人財団博愛会 理事長）
4. テーマ 2020年代の健診・予防医療を展望する～WITH/AFTER CORONA時代の変革への視座～
5. 開催内容

基調講演	1セッション	(1演題)
理事長講演	1セッション	(1演題)
特別講演	1セッション	(1演題)
特別プログラム	7セッション	(7演題)
招請講演	7セッション	(7演題)
メインシンポジウム	2セッション	(7演題)
シンポジウム	3セッション	(14演題)
パネルディスカッション	1セッション	(1演題)
教育講演	18セッション	(18演題)
特別企画	7セッション	(18演題)
委員会企画	9セッション	(26演題)
人間ドック認定医単独研修会	1セッション	(3演題)
遺伝学的検査アドバイザー研究会	1セッション	(3演題)
会員集会	3セッション	(24演題)
一般演題（プレナリ・国際含む）	42セッション	(260演題)
(内訳：一般演題254演題、国際1演題、プレナリ5演題)		
スポンサードセミナー	16セッション	(16演題)

計：120セッション（407演題）

6. 参加人数

4,272名（内3,985名/有料）

早期登録者数	3,422名	
	(会員医師	2,838名)
	(会員医師以外	251名)
	(会員施設	158施設)
	(非会員医師	23名)
	(非会員医師以外	148名)
	(非施設会員	4施設)
通常登録者数	563名	
	(会員医師	427名)
	(会員医師以外	49名)
	(非会員医師	16名)
	(非会員医師以外	71名)
招待者	287名	

2. 主要プログラム

■基調講演

「我が国における健診事業の現状と課題」

演者：那須 繁（日本人間ドック学会 総務担当理事／特定医療法人財団博愛会 理事長）

■理事長講演

「我が国の健診と予防医療の明日を目指して」

演者：相澤 孝夫（日本人間ドック学会 理事長／社会医療法人財団慈泉会 理事長）

■特別講演

「生命を捉えなおすー動的平衡の視点からー」

座長：那須 繁（日本人間ドック学会 総務担当理事／特定医療法人財団博愛会 理事長）

演者：福岡 伸一（生物学者・青山学院大学教授）

■特別プログラム

「明日への提言～2020年代の健診・予防医療の発展を目指して～」

座長：荒瀬 康司（日本人間ドック学会 副理事長／

虎の門病院 健康管理センター・画像診断センター 顧問）

演者：「マイナンバーカードを通じて広がるPHRの世界」

山下 護（厚生労働省保険局医療介護連携政策課長）

「生涯現役社会の実現を目指してー経済産業省の健康・ヘルスケア産業政策ー」

田中 一成（経済産業省 商務・サービス政策統括調整官）

「日本医師会における予防医療の取り組み」

今村 聡（公益社団法人日本医師会 副会長）

「健診施設が目指す予防医療への貢献」

石坂 裕子（日本人間ドック学会 健診施設機能評価・支援事業委員会 委員長／
三井記念病院総合健診センター センター長）

「保険者が求めるこれからの健診事業」

棟重 卓三（健康保険組合連合会 参与）

「今後望まれる健康診査・保健事業のあり方」

辻 一郎（東北大学大学院医学系研究科 公衆衛生学分野 教授）

「明日への提言 - ゼロ次予防の可能性と課題」

近藤 克則（千葉大学大学院 社会予防医学センター 教授）

■招請講演 1～7

座長：中川 高志（医療法人 大宮シティクリニック 理事長）

演者：「糖尿病領域における健診・予防医療の重要性」

植木浩二郎（一般社団法人 日本糖尿病学会 理事長／

国立国際医療研究センター研究所 糖尿病研究センター長）

「ガイドラインに見る高血圧基準と降圧目標」

樂木 宏実（特定非営利活動法人 日本高血圧学会 理事長／

大阪大学大学院 老年・総合内科学 教授）

「高精度で上質な低線量 CT 検診実施を目指して、現状と課題、今後の展望について考える」

中島 留美（特定非営利活動法人日本 CT 検診学会 理事長／

医療法人沖縄徳洲会 湘南鎌倉総合病院）

「健診現場における抗加齢医療の応用」

米井 嘉一（一般社団法人日本抗加齢医学会 理事／同志社大学生命医科学部
アンチエイジングリサーチセンター 教授）

「日本婦人科がん検診学会が日本人間ドック学会に期待すること」

佐々木 寛（一般社団法人日本婦人科がん検診学会 理事長／

医療法人沖縄徳洲会 千葉徳洲会病院 婦人科 部長）

「臨床検査と健診・予防医療」

村上 正巳（一般社団法人日本臨床検査医学会 理事長／

群馬大学大学院医学系研究科臨床検査医学 教授)
「With/After Corona 時代における産業保健」
川上 憲人 (公益社団法人日本産業衛生学会 理事/
東京大学大学院医学系研究科 教授)

■メインシンポジウム 1

「データサイエンスで切り拓く健診・予防医療の将来」

座長：加藤 公則 (新潟大学大学院 生活習慣病予防・健診医学講座 特任教授/
一般社団法人 新潟県労働衛生医学協会 理事)

基調講演：「データからみる健診・予防医療の役割」

松田 晋哉 (産業医科大学医学部 公衆衛生学教室 教授)

演者：「データにもとづく健診事業」

山本 雄士 (株式会社ミナケア)

「医療経済評価からみた保健指導の意義と役割」

福田 敬 (国立保健医療科学院 保健医療経済評価研究センター長)

「アウトカム評価にもとづく健診事業」

中川 徹 (株式会社日立製作所 日立健康管理センタ 副センタ長)

「健康ビッグデータをベースとした新 QOL 健診モデル」

村下 公一 (弘前大学健康未来イノベーションセンター 副センター長(教授)、
COI 副拠点長 (戦略統括))

■メインシンポジウム 2

「2020 年代における人間ドック・健診のイノベーション」

座長：田口 淳一 (東京ミッドタウンクリニック 院長)

演者：「人間ドックにおける遺伝的リスクスコアの応用の可能性と、現在の課題」

鎌谷洋一郎 (東京大学医科学研究所新領域創成科学研究科メディカル情報生命専攻 教授)

「AI が変える人間ドック」

吉田 澄人 (日本医師会総合政策研究機構 研究部統括部長補佐)

「リキッドバイオプシー及び新規検査と個別化人間ドック」

山門 實 (日本橋室町三井タワーミッドタウンクリニック)

■シンポジウム 1

「WITH/AFTER CORONA 時代の健診事業」

座長：梶田 出 (医療法人財団康生会 武田病院健診センター 所長)

演者：「コロナ禍における保健事業の取組み」

梅木 稔 (トッパングループ健康保険組合)

「受診者アンケートに見た With/After Corona 時代の意識変化」

中川 良 (大宮シティクリニック 副理事長)

「看護職の視点から見た健診施設の新型コロナ対策」

光畑 桂子 (公益財団法人筑波メディカルセンター つくば総合健診センター
副看護部長)

「With/After Corona 時代の健診施設の経営と運営」

嶋田 真二 (日本赤十字社熊本健康管理センター 事務部長)

「健診受診者における COVID-19 パンデミック前後の生活習慣病および動脈硬化危険因子の変化 (公募演題)」

村上 一雄 (松山赤十字病院 健診部長)

■シンポジウム 2

「WITH/AFTER CORONA 時代の保健指導」

座長：武藤 繁貴 (社会福祉法人聖隷福祉事業団保健事業部 聖隷健康診断センター 所長)

演者：「With/After Corona 時代における特定健診・特定保健指導政策」

新畑 覚也 (厚生労働省保険局医療介護連携政策課医療費適正化対策推進室長)

「協会けんぽにおけるコロナ禍での特定保健指導の取組み」

町田 恵子 (全国健康保険協会 保健部 保健第二グループ長)

「With/After Corona 時代における運動指導」

中田 由夫 (筑波大学 体育系 准教授)

「With/After Corona 時代における食生活支援」

林 芙美 (女子栄養大学 栄養学部 食生態学研究室 准教授)

「With/after Corona 時代における減酒指導」

真栄里 仁 (独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター 教育情報部長)

「コロナ禍における特定保健指導実施率維持への取り組み (公募演題)」

松本佐智代 (医療法人社団 相和会 相模原総合健診センター)

■シンポジウム 3

「これからの職域における任意型がん検診」 (共催：日本産業衛生学会)

座長：高谷 典秀 (医療法人社団 同友会 理事長)

演者：「コロナ禍におけるがん検診のあり方」

中川 恵一 (東京大学 大学院 医学系研究科 総合放射線腫瘍学講座 准教授)

「職域における任意型検診とは」

立道 昌幸 (東海大学大学院 基盤診療学系衛生学公衆衛生学 教授)

「健保組合のがん検診実施状況と今後の課題」

小松原祐介 (健康保険組合連合会 組合サポート部長 (保健担当))

■パネルディスカッション (LIVE 配信：9月24日(金) 14:00~15:45)

「2020年代の健診予防医療を展望する～WITH/AFTER CORONA 時代の変革への視座～」

モデレーター：那須 繁 (第62回学術大会長/特定医療法人財団 博愛会 理事長)

パネリスト：荒瀬 康司 (日本人間ドック学会 副理事長/

虎の門病院 健康管理センター・画像診断センター 顧問)

加藤 公則 (新潟大学大学院 生活習慣病予防・健診医学講座 特任教授/

一般社団法人 新潟県労働衛生医学協会 理事)

田口 淳一 (東京ミッドタウンクリニック 院長)

梶田 出 (医療法人財団康生会 武田病院健診センター 所長)

武藤 繁貴 (社会福祉法人 聖隷福祉事業団保健事業部 聖隷健康診断センター 所長)

高谷 典秀 (医療法人社団 同友会 理事長)

■教育講演 1

「健診・予防医療における診療ガイドラインの意義と役割」

演者：中山 健夫 (京都大学大学院 医学研究科 社会健康医学系専攻 健康情報学)

■教育講演 2

「データヘルス計画における健診機関の役割」

演者：古井 祐司 (東京大学未来ビジョン研究センター 特任教授)

■教育講演 3

「正しいヘリコバクターピロリ検査法の選択」

演者：井上 和彦 (淳風会健康管理センター センター長)

■教育講演 4

「CKD 進展予防における健診の有用性」

演者：戸田 晶子 (虎の門病院健康管理センター 医長)

■教育講演 5

「人間ドックで知っておきたい高血圧の知識」

演者：加藤 公則 (新潟大学大学院 生活習慣病予防・健診医学講座 特任教授/ 一般社団法人 新潟県労働衛生医学協会 理事)

■教育講演 6

「健診現場で知っておきたい膵嚢胞腫瘍 (IPMN) の取り扱い」

演者：伊藤 鉄英 (医療法人社団高邦会 福岡山王病院 肝臓・胆嚢・膵臓・神経内分泌腫瘍センター センター長/国際医療福祉大学医学部消化器内科 教授)

- 教育講演 7
「血清中マイクロ RNA を用いた、血液によるがん検診」
演者：加藤 健（国立がん研究センター 中央病院 頭頸部内科 科長）
- 教育講演 8
「会員施設におけるがん検診の現状と課題」
演者：三原 修一（みはらライフクリニック 院長）
- 教育講演 9
「ストレスチェック結果と定期健康診断結果との関連」
演者：武藤 繁貴（社会福祉法人聖隷福祉事業団保健事業部 聖隷健康診断センター 所長）
- 教育講演 10
「保健指導におけるナッジの実践」
演者：竹林 正樹（株式会社キャンサーキャン 顧問）
- 教育講演 11
「健診・医療現場における保健相談記録の書き方」
演者：柳澤 尚代（学校法人弘前学院 弘前学院大学 看護学部 学部長・教授）
- 教育講演 12
「人間ドックにおける運動指導とその基礎知識」
演者：澤田 亨（早稲田大学 スポーツ科学学術院 教授）
- 教育講演 13
「生体センサーによる健康評価から管理へ」
演者：木村 穰（関西医科大学 医学部 健康科学センター）
- 教育講演 14
「採血時の問題点とその予防」
演者：大西 宏明（杏林大学医学部 臨床検査医学 教授）
- 教育講演 15
「腹部超音波精度管理事業の現状と課題」（共催：全国労働衛生団体連合会）
演者：岡庭 信司（飯田市立病院 消化器内科 診療技幹・部長）
- 教育講演 16
「健診・医療機関におけるサイバー被害の実態と対策」
演者：上野 智明（日本医師会 ORCA 管理機構株式会社 取締役副社長）
- 教育講演 17
「健康・医療現場における医療安全～いま知っておきたいこと、いま考えておきたいこと～」
演者：鮎澤 純子（九州大学大学院医学研究院医療経営・管理学講座 准教授
九州大学病院 病院長補佐）
- 教育講演 18
「臨床研究と利益相反」
演者：児玉 安司（新星総合法律事務所 弁護士）
- 特別企画 1
「大腸 CT 検査の現状と人間ドックでの役割」（共催：日本消化器がん検診学会）
座長：野崎 良一（社会医療法人社団高野会 大腸肛門病センター高野病院 消化器内科特任部長）
演者：「大腸 CT 検査の現状と役割」
永田 浩一（福島県立医科大学医学部 消化器内科学講座 特任教授）
「人間ドックにおける大腸 CT の現状と将来展望」
満崎 克彦（社会福祉法人恩賜財団 済生会熊本病院 予防医療センター センター長）
- 特別企画 2
「健診標準フォーマットによる健診結果のデータベース化」（共催：日本医師会）
座長：和田 高士（東京慈恵会医科大学大学院 医学研究科健康科学 教授）
演者：「標準用語と判定区分の必要性・有用性」
和田 高士（東京慈恵会医科大学大学院 医学研究科健康科学 教授）
「健診・医療機関における健診標準フォーマットの普及状態」

吉田 澄人（日本医師会総合政策研究機構 研究部統括部長補佐）
「健診標準フォーマットによる代行業務の改善状況」
宮内 保行（一般社団法人労働保健協会 理事・事業統括本部長）
「健診標準フォーマットを活用したコラボヘルス」
根岸 正治（日立健康保険組合 担当部長）

■特別企画 3

「産業保健における健診機関に期待される役割」（共催：日本産業衛生学会）
座長：廣瀬 光彦（医療法人 オリエンタルクリニック 理事長）
演者：「データヘルス時代における産業医学と健診医学の連携」
福田 洋（順天堂大学大学院医学研究科 先端予防医学・健康情報学講座 特任教授）
「産業医が健診機関に期待すること」
土肥誠太郎（三井化学株式会社 本社健康管理室長 統括産業医）
「当施設における産業保健活動」
野波 善郎（日本赤十字社 熊本健康管理センター 健康増進部長）

■特別企画 4

「地域の病院における健診事業への期待」（共催：日本病院会）
座長：大道 道大（社会医療法人大道会 森之宮病院 理事長・院長）
演者：「病院併設型健診事業の現況」
石坂 裕子（三井記念病院総合健診センター センター長）
「地域の病院における健診・予防医療の重要性」
石川 賀代（社会医療法人石川記念会 HITO 病院 理事長）
「けいじゅヘルスケアシステムにおける健診・予防医療の重要性」
神野 正博（社会医療法人財団董仙会 恵寿総合病院 理事長）

■特別企画 5

「健診・医療従事者が知っておきたい COVID-19 の感染対策」
座長：新 智文（JA 北海道厚生連 帯広厚生病院 副院長）
演者：「COVID-19 の臨床像」
忽那 賢志（大阪大学 大学院医学系研究科 感染制御医学講座 教授）
「健診・医療機関における新型コロナウイルス感染防止対策」
坂本 史衣（聖路加国際病院 QI センター 感染管理室 マネジャー）
「COVID-19 肺炎の画像診断と健診、そして AI・・・」
松本 純一（聖マリアンナ医科大学 救命救急センター 医長）

■特別企画 6

「チームで伝える安全とおもてなしの心」（共催：日本人間ドック健診協会）
演者：菊池 佐恵（ANA ビジネスソリューション株式会社 講師）

■特別企画 7

「乳腺超音波スクリーニング検査における留意点」（協力：埼玉医科大学病院予防医学センター）
座長：足立 雅樹（埼玉医科大学病院予防医学センター 客員教授）
清水 正雄（埼玉医科大学病院予防医学センター 講師）
演者：「当施設での乳腺超音波検査」
永島かおり（埼玉医科大学病院予防医学センター 臨床検査技師）
「乳腺超音波検査における検査の注意点と検査所見取りの注意点」
来住野 修（埼玉医科大学保健医療学部 准教授）

■委員会企画 1：健診施設の運営に関する委員会

「健診・医療機関における職員の安全と健康を守る」
座長：土屋 敦（日本人間ドック健診協会 理事長／医療法人社団相和会 淵野辺総合病院 理事長）
演者：「健診・医療機関で働く女性職員のための健康管理」
吉川 悦子（日本赤十字看護大学 看護学部 准教授）
「健診・医療機関における産業保健活動」

小川 真規（自治医科大学 保健センター センター長）
「健診・医療機関における健康経営の重要性」
岡田 邦夫（特定非営利活動法人 健康経営研究会 理事長）

■委員会企画2：健診施設機能評価・支援事業委員会

「受けてよかった機能評価 2021」

座長：新 智文（健診施設機能評価・支援事業委員会 副委員長／
JA 北海道厚生連 帯広厚生病院 副院長）
村田 雅彦（健診施設機能評価・支援事業委員会 副委員長／
秋田赤十字病院 健診部 部長）

第1部 委員会報告

演者：「2020年度事業報告」

石坂 裕子（健診施設機能評価・支援事業委員会 委員長／
三井記念病院総合健診センター センター長）

第2部 認定施設発表

演者：「情報の提供体制の構築について」

小西 久子（公益財団法人加古川総合保健センター）

「職員の健康管理 ～健康経営の取り組み～」

杉田 裕美（医療法人 畏敬会 府内健診センター）

「中規模一般病院組織内健診室における機能評価認定取得に向けた取り組み」

林 秀樹（医療法人 林病院）

■委員会企画3：健診情報管理指導士育成事業委員会

「みんなの保健指導」

座長：武藤 繁貴（健診情報管理指導士育成事業委員会 委員長／
社会福祉法人聖隷福祉事業団保健事業部 聖隷健康診断センター 所長）

演者：「聖隷福祉事業団保健事業部における保健指導品質管理の実際」

中西 湖雪（社会福祉法人聖隷福祉事業団保健事業部 保健看護管理室 室長）

■委員会企画4：健診保健師・看護師の育成に関する検討委員会

「やっぱり楽しい健診看護～看護職が支える受けてよかった人間ドック～」

座長：新 智文（健診保健師・看護師の育成に関する検討委員会 委員長／
JA 北海道厚生連 帯広厚生病院 副院長）

演者：「健診看護職のやりがい」

佐藤さとみ（東京慈恵会医科大学附属病院 予防医学センター新橋健診センター
看護部）

「健診看護職の人材育成」

光畑 桂子（公益財団法人筑波メディカルセンター つくば総合健診センター
副看護部長）

「健診看護の管理的視点～当施設でのワーク・モチベーションの考察～」

千葉 暢子（社会医療法人中山会宇都宮記念病院 総合健診センター 保健サー
ビス・健診 看護部 看護副部長）

■委員会企画5：女性のための健診・予防医療のあり方検討委員会（1）

「視触診による乳がん検診は必要でしょうか？」

座長：植松 孝悦（女性のための健診・予防医療のあり方検討委員会 副委員長／
静岡県立静岡がんセンター乳腺画像診断科 部長）

演者：「視触診による乳癌検診の是非 ～乳腺外科医の視点から～」

明石 定子（昭和大学医学部 外科学講座 乳腺外科学部門 教授）

「視触診による乳がん検診の是非 ～健診機関の視点から～」

中井 昌弘（三重県健康管理事業センター 診療所長）

「視触診による乳がん検診の是非 ～科学的根拠に基づく乳がん検診の視点から～」

植松 孝悦（女性のための健診・予防医療のあり方検討委員会 副委員長／
静岡県立静岡がんセンター乳腺画像診断科 部長）

■委員会企画6：女性のための健診・予防医療のあり方検討委員会（2）

「HPV検査は今後の子宮頸がん検診にどのように用いるべきでしょうか？」

座長：佐々木 寛（女性のための健診・予防医療のあり方検討委員会 委員長／
医療法人沖縄徳洲会 千葉徳洲会病院 婦人科部長）

演者：「HPV感染から子宮頸癌に至るまでのメカニズムにおける HPV 検査の意味」

川名 敬（日本大学医学部附属 板橋病院 産科・婦人科 主任教授）

「子宮頸がん検診のマネジメントはどうあるべきかーHPV検査の導入を見据えてー」

青木 大輔（慶應義塾大学医学部 産婦人科 教授）

「精度管理と HPV 検査導入に向けての準備」

木口 一成（公益財団法人 東京都予防医学協会 検査研究センター長）

■委員会企画7：健診判定・指導マニュアル作成委員会

「人間ドック超音波検査のレベルアップのために何が必要か？」

～腹部超音波検診判定マニュアル 2021 版のご紹介～

座長：田中 幸子（健診判定・指導マニュアル作成委員会腹部超音波 WG WG 長／
公益財団法人大阪府保健医療財団大阪がん循環器病予防センター 顧問）

演者：「人間ドック超音波検査のレベルアップのために何が必要か」

田中 幸子（公益財団法人大阪府保健医療財団大阪がん循環器病予防センター 顧問）

「腹部超音波検診判定マニュアルの意義と 2021 版の変更点」

岡庭 信司（飯田市立病院 消化器内科 診療技幹 内視鏡センター長）

「自施設での腹部超音波検診判定マニュアル 開始・運用・改定の実際」

水野 雅之（大阪府済生会吹田医療福祉センター健都健康管理センター 所長）

「腹部超音波検診判定マニュアル導入の実際」

齊藤 弥穂（新生会高の原中央病院 人間ドックセンター センター長・放射線科部長）

「当施設での腹部超音波検診判定マニュアル運用の実際」

瀧田 通（社会医療法人財団慈泉会相澤健康センター 健康管理部）

「自施設での腹部超音波検診判定マニュアル運用の実際」

石本 博基（JA 北海道厚生連札幌厚生病院 医療技術部 放射線技術科 係長）

■委員会企画8：内視鏡スクリーニングのあり方検討委員会

「上部消化管内視鏡スクリーニングの最前線」

座長：井上 和彦（内視鏡スクリーニングのあり方検討委員会 委員長／
淳風会健康管理センター センター長）

演者：「画像強調内視鏡（IEE：Image Enhanced Endoscopy）併用による上部消化管スクリーニング～NBI、TXI 観察を中心に～」

青木 利佳（公益財団法人とくしま未来健康づくり機構 徳島県総合健診センター 医長）

「LCI, BLI 観察併用を含めた上部消化管内視鏡検査スクリーニング」

鎌田 智有（川崎医科大学総合医療センター 健康管理学 センター長）

「With Corona 時代の上部消化管内視鏡スクリーニングにおける感染対策」

入澤 篤志（獨協医科大学病院 消化器内科 診療部長）

■委員会企画9：健診の有用性に関する研究・論文活性化委員会／編集委員会 合同企画

「もっと研究・論文投稿してみませんか」

座長：福井 敏樹（健診の有用性に関する研究・論文活性化委員会 委員長／
医療法人社団如水会グループ 高松メディカルクリニック予防医療センター 院長）

井上 和彦（編集委員会 委員長／淳風会健康管理センター センター長）

演者：「編集委員会から」

井上 和彦（編集委員会 委員長／淳風会健康管理センター センター長）

「論文活性化委員会から」

福井 敏樹（健診の有用性に関する研究・論文活性化委員会 委員長／
医療法人社団如水会グループ 高松メディカルクリニック予防医療センター 院長）

「論文を書くことということ」

荒瀬 康司（日本人間ドック学会 副理事長／

虎の門病院 健康管理センター・画像診断センター 顧問）

進行・聞き手：福井 敏樹（健診の有用性に関する研究・論文活性化委員会 委員長／

医療法人社団如水会グループ 高松メディカルクリニック予防医療センター 院長）

Ⅲ. 学会誌等

1. 和文誌「人間ドック」 （年 5 回）

VOL. 36 NO. 1 2021. 6 （原著論文集）

VOL. 36 NO. 2 2021. 9 （原著論文集）

VOL. 36 NO. 3 2021. 11 （学術大会プログラム・抄録集）

VOL. 36 NO. 4 2021. 12 （原著論文集/学術大会開催案内）

VOL. 36 NO. 5 2022. 3 （原著論文集/学術大会開催案内）

2. 英文誌「Ningen Dock International」 （年 1 回）

VOL. 9 NO. 1 2022. 3 （原著英文誌）

3. 日本人間ドック学会 ニュースレター

VOL. 7 VOL. 8 VOL. 9

Ⅳ. 人間ドック認定医制度

1. 第 23 回人間ドック認定医認定

人間ドック認定医制度は、2021 年 4 月 1 日以降の認定者数は 156 名であり、認定医交付総数として 6,017 名となった。

2. 第 18 回人間ドック認定医更新

人間ドック認定医制度（更新）は、2021 年 4 月 1 日以降の更新者数は 232 名であり、更新者総数は 4,752 名である。

Ⅴ. 人間ドック健診専門医制度

1. 2021 年度人間ドック健診専門医認定試験 （日本総合健診医学会との合同 10 回目）

日 時：2021 年 10 月 17 日（日） 13:00～15:00

会 場：品川フロントビル 地下 1 階会議室（東京都港区港南 2-3-13）

受験対象者：受験資格該当者（研修施設での満 3 年以上の研修歴がある者）

日本人間ドック学会 83 名（日本総合健診医学会：18 名）両学会合計 101 名

試験内容：試験問題集等 計 100 問出題 100 分間 マークシート方式による筆記試験

◆認定者数：日本人間ドック学会 82 名（日本総合健診医学会：18 名）両学会合計 100 名

◆更新者数：日本人間ドック学会 271 名（日本総合健診医学会：38 名）両学会合計 309 名

認定期間は、2022 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日 5 年間とする。

【人間ドック健診専門医認定者数（ドック学会累計）：1,998 名】

2. 2021 年度人間ドック健診専門医制度 指導医・研修施設 認定数

条件を満たした指導医・研修施設を両学会で認定した。

指導医

- ◆認定者数：日本人間ドック学会 50 名（日本総合健診医学会：9 名）両学会合計 59 名
- ◆更新者数：日本人間ドック学会 239 名（日本総合健診医学会：15 名）両学会合計 254 名

研修施設

- ◆認定数：日本人間ドック学会 5 施設（日本総合健診医学会：8 施設）両学会合計 13 施設
- ◆更新数：日本人間ドック学会 45 施設（日本総合健診医学会：9 施設）両学会合計 54 施設

【人間ドック健診指導医 認定者数（ドック学会 累計）：1,032 名】

【人間ドック健診研修施設 認定数（ドック学会 累計）：336 施設】

※暫定指導医(日本人間ドック学会 5 名、日本総合健診医学会 3 名)、
暫定研修施設(日本人間ドック学会 9 施設、日本総合健診医学会 3 施設)として
5 年間の委嘱をした。

【暫定指導医 認定者数 : 97 名】 2022 年 3 月 31 日現在

【暫定研修施設 認定数 : 111 施設】 2022 年 3 月 31 日現在

委嘱認定期間は、2022 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日 5 年間をもって委嘱終了とする。

VI. 人間ドック健診施設機能評価

2022 年 3 月末現在、666 施設からの受審申請があり、うち新規認定を取得した施設は 470 施設である。新規認定 470 施設のうち、更新を辞退した施設は 63 施設あり、現在有効な認定施設は 407 施設である。なお、認定取得に向け受審準備中の施設は現在約 200 施設ある。認定施設は 46 都道府県と台湾に分布している。

1. 人間ドック健診施設機能評価 認定施設数

【認定施設の分布 *2022 年 3 月末現在。更新辞退施設を除く】

北海道	13	東京都	65	滋賀県	3	香川県	5
青森県	2	神奈川県	21	京都府	14	愛媛県	5
岩手県	4	新潟県	6	大阪府	28	高知県	2
宮城県	8	富山県	3	兵庫県	14	福岡県	17
秋田県	4	石川県	5	奈良県	3	佐賀県	1
山形県	3	福井県	4	和歌山県	1	長崎県	3
福島県	2	山梨県	1	鳥取県	0	熊本県	5
茨城県	5	長野県	16	島根県	2	大分県	3
栃木県	8	岐阜県	7	岡山県	10	宮崎県	1
群馬県	7	静岡県	9	広島県	12	鹿児島県	4
埼玉県	14	愛知県	25	山口県	2	沖縄県	5
千葉県	16	三重県	8	徳島県	2	海外(台湾)	2

2. サーベイヤー研修

サーベイヤーのスキルアップおよび最新の評価基準の解釈周知等を目的に例年開催しているが、新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴い、昨年度に引き続き WEB セミナーを開催した。

■開催日時：5 月 13 日（木）16 時 30 分～18 時 00 分

■担当委員：健診施設機能評価・支援事業委員会 Ver. 4.0 運営ワーキンググループ
機能評価委員会委員長 石坂裕子（来局）、Ver. 4.0WG 長 金子義晴（来局）
Ver. 4.0 WG 委員 岩崎真也

■目的 1) 3月に配信した【サーベイヤー研修用動画〈リモート審査解説〉】の質疑応答
2) リモート審査体制のブラッシュアップに向けた意見交換
3) サーベイヤー間の交流

■参加者 医師サーベイヤー10名／事務系サーベイヤー22名

■プログラム

1. 開会挨拶
2. 委員会報告・リモート審査実施報告
3. サーベイヤー研修動画「リモート審査の実施にむけて」感想紹介
4. ディスカッション
5. まとめ

3. Ver. 4.0 受審準備セミナー（オンデマンド配信）

受審（希望）施設を対象に Ver.4.0 受審準備セミナーを開催した。
今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴い、参加者の健康と安全を最優先に考慮し、WEBセミナー（オンデマンド配信）とした。

<第1回>

1. 配信期間：配信期間 2021年4月12日（月）～2021年5月10日（月）
2. 参加者数：31 施設

<第2回>

1. 配信期間：2021年7月16日（金）～2021年8月20日（金）
2. 参加者数：52 施設

<第3回>

1. 配信期間：2022年1月14日（金）10:00～2022年2月18日
2. 参加者数：21 施設

Ⅶ. 研修会・人材育成活動

1. 人間ドック認定医・人間ドック健診専門医の育成

●第58回 人間ドック健診認定医・専門医研修会

配信期間：2021年8月17日（火）～8月31日（火）

方法：オンデマンド配信

参加者数：1,350名（ドック学会認定医・専門医1,311名、総合専門医39名）

「食道疾患の内視鏡診断と治療- 早期食道がんを中心に -」

「高血圧治療ガイドライン（JSH2019）に準拠した高血圧治療」

「人間ドックで注意すべきメンタルの問題- ストレスチェック制度の問題も含めて -」

●第59回 人間ドック健診認定医・専門医研修会

配信期間：2021年11月16日（火）～11月30日（火）

方法：オンデマンド配信

参加者数：1,228名（ドック学会認定医・専門医1,183名、総合専門医45名）

「オーラルフレイル予防と歯科ドック」
「人間ドック健診における運動・身体活動のすすめ方」
「行動変容・ヘルスリテラシー向上につながる医療面接」

2. 人間ドック健診情報管理指導士の育成

●人間ドック健診情報管理指導士 研修会 (対象：医師・保健師・管理栄養士)

回	配信期間	方法	認定者	内 訳
第 36 回	2021 年 6 月 4 日 (金) ～7 月 5 日 (月)	オンデマンド配信	460 名	医師： 155 名 保健師：231 名 管理栄養士：74 名 (他修了者：71 名)
第 37 回	2022 年 1 月 21 日 (金) ～2 月 22 日 (火)	オンデマンド配信	342 名	医師： 78 名 保健師：199 名 管理栄養士：65 名 (他修了者：43 名)

【2021 年度 オンデマンド配信版プログラム】

『特定健診・特定保健指導の理念・制度・仕組み』
『生活習慣病やメタボリックシンドロームに関する知識』

エネルギー収支を改善するための保健指導
『食生活に関する保健指導の実際』
『身体活動に関する保健指導の実際』
『特定健診・特定保健指導における保険者との連携』
『行動変容に関する理論と実践』
『喫煙・飲酒習慣者への保健指導』
『特定保健指導で役立つ口腔保健の知識』
『人間ドック健診におけるがん検診-その現状と展望』

演習：保健指導方法の研究

『初回面接のビデオ学習による演習』
『初回面接の記録について』
『継続支援の電子メール（ビデオ対象者に対する継続支援）』
○受講者からの質問への回答と演習のフィードバック配信（後日配信）

●人間ドック健診情報管理指導士 ブラッシュアップ研修会（オンデマンド配信） (対象：医師・保健師・管理栄養士)

回	配信期間	参加者数	内 訳
第 62 回	2021 年 8 月 20 日 (金) ～9 月 8 日 (水)	<u>708 名</u>	医師： 235 名 保健師：329 名 管理栄養士：144 名
第 63 回	2021 年 11 月 2 日 (火) ～11 月 22 日 (月)	<u>360 名</u>	医師： 93 名 保健師：191 名 管理栄養士：76 名
第 64 回	2022 年 1 月 19 日 (水) ～2 月 7 日 (月)	<u>399 名</u>	医師：86 名 保健師：230 名 管理栄養士：82 名 看護師：1 名

【2021年度 プログラム】

『特定健診・特定保健指導に対する新型コロナウイルス感染症の影響と対応』

『特定保健指導における運動実技の指導ポイント』

『ICTを活用した禁煙治療と新型たばこの最新情報』

『事例検討』（演習テーマ：生活様式に変化があった方への保健指導）

（事例提供）

- ・ワーク 1 対象者の病態把握／生活習慣の課題について
- ・ワーク 2 対象者への支援方法について
- ・事例における食生活に関するポイント講義
- ・事例における身体活動・運動に関するポイント講義
- ・事例における喫煙に関するポイント講義
- ・事例のその後と演習のまとめ

3. 遺伝学的検査アドバイザーの育成

認定対象（医師、保健師、看護師、放射線技師、臨床検査技師、管理栄養士、薬剤師）

参加登録者：211名

●第4回 遺伝学的検査アドバイザー研修会（第63回日本人間ドック学会学術大会特別企画5）

配信期間：2021年9月10日（金）～9月24日（金）

方法：オンデマンド配信

プログラム

- ・遺伝学的検査アドバイザー講習の重要点とアップデート
- ・次世代シーケンサーを用いた究極の HLA タイピング検査と疾患罹患予測
- ・薬理遺伝学の基礎と検査

（収益事業等）

Ⅷ. 人間ドック健診施設の他団体等への紹介や指定等に関する事業

1. 健保連等への人間ドック実施施設指定

2022年3月末現在の指定施設は、一日ドックのみ195施設、一日ドック・二日ドック両方181施設である。

2. 特定健診特定保健指導委託集合契約事業

○令和3年度特定健康診査・特定保健指導集合契約A参加保険者及び参加健診施設

◆健康保険組合連合会

・北海道新聞社健康保険組合 他

◆全国健康保険協会（協会けんぽ）

◆一般社団法人共済組合連盟（国家公務員共済組合）

衆議院共済組合・参議院共済組合・厚生労働省共済組合・裁判所共済組合

会計検査院共済組合・厚生労働省第二共済組合・林野庁共済組合・日本郵政共済組合

◆一般社団法人地方公務員共済組合協議会（地方公務員共済組合）

地方職員共済組合・公立学校共済組合・警察共済組合

東京都職員共済組合等の市町村職員共済組合 他

◆日本私立学校振興・共済事業団

◆全国土木建築国民健康保険組合

◆全国建設工事業国民健康保険組合

◆全国歯科医師国民健康保険組合

- ◆近畿税理士国民健康保険組合
- ◆岡山県建設国民健康保険組合
- ◆福島県
- ◆岩手県

○集合契約A参加健診施設数

- ・ 日本人間ドック学会 1,279 施設
- ・ 日本病院会 408 施設

3. 風しん抗体検査および風しんの第5期の定期接種に係る集合契約

2022年3月末現在の契約参加施設は、1215施設である。

4. 新型コロナウイルス感染症の予防接種に係る委託集合契約

2022年3月末現在の契約参加施設は、81施設である。

IX. その他の事業(相互扶助等事業)

1. 予防医療及び人間ドック学の発展に資する研究等を支援する事業

2018年度より新規事業として、人間ドックの有用性に関するエビデンス作りを目指す考えから学術委託研究を公募していたが、2021年度は5研究を採用。(2020年度は新型コロナの影響で公募を中止)

決算報告

2022年3月31日 現在

貸借対照表

2022年3月31日現在

公益社団法人 日本人間ドック学会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	216,134,279	290,197,303	△ 74,063,024
未収金	946,730	3,325,319	△ 2,378,589
前払金	6,633,495	1,883,126	4,750,369
仮払金	0	29,200	△ 29,200
貯蔵品	6,352,500	0	6,352,500
流動資産合計	230,067,004	295,434,948	△ 65,367,944
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
公益目的保有特定資産	100,000,000	0	100,000,000
特定資産合計	100,000,000	0	100,000,000
(2) その他固定資産			
建物	1,096,064	1,248,639	△ 152,575
什器備品	6,828,016	3,185,033	3,642,983
ソフトウェア	237,600	343,200	△ 105,600
その他固定資産合計	8,161,680	4,776,872	3,384,808
固定資産合計	108,161,680	4,776,872	103,384,808
資産合計	338,228,684	300,211,820	38,016,864
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,715,150	2,227,980	△ 512,830
未払消費税等	2,241,100	3,932,200	△ 1,691,100
前受金	9,020,000	11,715,000	△ 2,695,000
預り金	719,117	1,394,843	△ 675,726
仮受金	0	35,000	△ 35,000
賞与引当金	3,172,237	4,521,135	△ 1,348,898
流動負債合計	16,867,604	23,826,158	△ 6,958,554
2. 固定負債			
退職給付引当金	6,291,033	6,150,518	140,515
固定負債合計	6,291,033	6,150,518	140,515
負債合計	23,158,637	29,976,676	△ 6,818,039
III 正味財産の部			
1. 基金			
基金	71,084,813	71,084,813	0
(うち特定資産への充当額)			
2. 指定正味財産			
受取寄付金			
指定正味財産合計	0	0	0
(うち特定資産への充当額)			
3. 一般正味財産			
(1) 代替基金	0	0	0
(2) その他の一般正味財産	243,985,234	199,150,331	44,834,903
一般正味財産合計	243,985,234	199,150,331	44,834,903
(うち特定資産への充当額)	(100,000,000)	(0)	(100,000,000)
正味財産合計	315,070,047	270,235,144	44,834,903
負債及び正味財産合計	338,228,684	300,211,820	38,016,864

貸借対照表内訳表

2022年3月31日現在

公益社団法人 日本人間ドック学会

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引等消去	合計
I 資産の部					
1. 流動資産					
現金預金	2,813,889	3,154,530	210,165,860	0	216,134,279
未収金	300,000	646,730	0	0	946,730
前払金	6,577,718	20,917	34,860	0	6,633,495
貯蔵品	6,352,500	0	0	0	6,352,500
流動資産合計	16,044,107	3,822,177	210,200,720	0	230,067,004
2. 固定資産					
(1) 特定資産					
公益目的保有特定資産	100,000,000	0	0	0	100,000,000
特定資産合計	100,000,000	0	0	0	100,000,000
(2) その他固定資産					
建物	959,056	68,504	68,504	0	1,096,064
什器備品	0	0	6,828,016	0	6,828,016
ソフトウェア	237,600	0	0	0	237,600
長期預け金	0	0	71,153,317	△ 71,153,317	0
その他固定資産合計	1,196,656	68,504	78,049,837	△ 71,153,317	8,161,680
固定資産合計	101,196,656	68,504	78,049,837	△ 71,153,317	108,161,680
資産合計	117,240,763	3,890,681	288,250,557	△ 71,153,317	338,228,684
II 負債の部					
1. 流動負債					
未払金	1,045,450	0	669,700	0	1,715,150
未払消費税等	2,160,624	80,476	0	0	2,241,100
前受金	9,020,000	0	0	0	9,020,000
預り金	657,862	22,971	38,284	0	719,117
賞与引当金	2,890,260	105,741	176,236	0	3,172,237
流動負債合計	15,774,196	209,188	884,220	0	16,867,604
2. 固定負債					
退職給付引当金	5,731,830	209,701	349,502	0	6,291,033
長期預り金	71,084,813	68,504	0	△ 71,153,317	0
固定負債合計	76,816,643	278,205	349,502	△ 71,153,317	6,291,033
負債合計	92,590,839	487,393	1,233,722	△ 71,153,317	23,158,637
III 正味財産の部					
1. 基金					
基金	0	0	71,084,813	0	71,084,813
(うち特定資産への充当額)					
2. 指定正味財産					
受取寄付金	0	0	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0	0	0
(うち特定資産への充当額)					
3. 一般正味財産					
(1) 代替基金	0	0	0	0	0
(2) その他の一般正味財産	24,649,924	3,403,288	215,932,022	0	243,985,234
一般正味財産合計	24,649,924	3,403,288	215,932,022	0	243,985,234
(うち特定資産への充当額)	(100,000,000)	(0)	(0)	(0)	(100,000,000)
正味財産合計	24,649,924	3,403,288	287,016,835	0	315,070,047
負債及び正味財産合計	117,240,763	3,890,681	288,250,557	△ 71,153,317	338,228,684

正味財産増減計算書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

公益社団法人 日本人間ドック学会

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	114,636,000	111,818,000	2,818,000
個人会員受取会費	61,086,000	59,768,000	1,318,000
施設会員受取会費	52,680,000	51,210,000	1,470,000
賛助会員受取会費	870,000	840,000	30,000
事業収益	156,696,000	150,990,500	5,705,500
学術大会参加収益	42,455,000	42,730,000	△ 275,000
学術大会展示出店料収益	2,090,000	2,860,000	△ 770,000
学術大会共催セミナー収益	5,610,000	21,780,000	△ 16,170,000
認定医・専門医研修会事業収益	25,890,000	19,210,000	6,680,000
専門医試験・認定事業収益	5,890,000	7,730,000	△ 1,840,000
認定医認定・更新事業収益	6,930,000	6,050,000	880,000
情報管理指導士研修認定事業収益	45,409,000	32,270,000	13,139,000
遺伝的検査アドバイザー事業収益	1,820,000	2,420,000	△ 600,000
機能評価審査・認定事業収益	17,370,000	14,750,000	2,620,000
指定事業収益	2,380,000	500,000	1,880,000
雑誌販売事業収益	852,000	690,500	161,500
受取寄付金	500,000	3,102,520	△ 2,602,520
受取寄付金	500,000	3,102,520	△ 2,602,520
雑収益	9,565,478	7,251,286	2,314,192
受取利息	10,345	204,626	△ 194,281
広告掲載料収益	2,837,000	1,709,000	1,128,000
雑収益	6,718,133	5,337,660	1,380,473
経常収益計	281,397,478	273,162,306	8,235,172
(2) 経常費用			
事業費	202,706,306	225,308,950	△ 22,602,644
給料手当	51,289,438	51,643,484	△ 354,046
法定福利費	8,352,577	8,020,672	331,905
退職給付費用	2,291,909	3,152,072	△ 860,163
旅費交通費	4,187,866	3,342,784	845,082
通信運搬費	12,149,891	11,644,060	505,831
減価償却費	249,699	249,699	0
消耗品費	3,594,508	3,494,854	99,654
印刷製本費	30,927,755	26,163,500	4,764,255
光熱水料費	553,293	534,224	19,069
賃借料	7,696,580	15,883,805	△ 8,187,225
会議費	39,390	235,281	△ 195,891
諸謝金	12,992,780	7,950,332	5,042,448
租税公課	6,927,406	6,249,200	678,206
委託費	58,113,743	82,378,848	△ 24,265,105
支払助成金	2,980,000	2,302,389	677,611
雑費	359,471	2,063,746	△ 1,704,275
管理費	33,856,268	18,911,154	14,945,114
給料手当	3,017,026	3,770,526	△ 753,526
法定福利費	491,328	589,381	△ 98,053
退職給付費用	180,606	211,486	△ 30,880
福利厚生費	688,110	460,410	227,700
旅費交通費	2,310,716	3,036,512	△ 725,796
通信運搬費	2,451,363	3,074,609	△ 623,246
減価償却費	2,644,182	694,739	1,949,443
広告費	12,100,000	0	12,100,000
消耗品費	1,356,815	744,194	612,621
印刷製本費	862,640	945,648	△ 83,008
光熱水料費	32,546	31,424	1,122
賃借料	600,490	626,670	△ 26,180
会議費	32,000	6,961	25,039
保険料	332,785	446,908	△ 114,123
租税公課	964,230	74,030	890,200
委託費	4,783,433	3,859,797	923,636
交際費	0	4,255	△ 4,255
雑費	1,007,998	333,578	674,420
経常費用計	236,562,574	244,220,104	△ 7,657,530
当期経常増減額	44,834,904	28,942,202	15,892,702
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	1	2	△ 1
固定資産除売却損	1	2	△ 1
当期経常外増減額	△ 1	△ 2	1
当期一般正味財産増減額	44,834,903	28,942,200	15,892,703
一般正味財産期首残高	199,150,331	170,208,131	28,942,200
一般正味財産期末残高	243,985,234	199,150,331	44,834,903
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 基金増減の部			
当期基金増減額	0	0	0
基金期首残高	71,084,813	71,084,813	0
基金期末残高	71,084,813	71,084,813	0
IV 正味財産期末残高	315,070,047	270,235,144	44,834,903

正味財産増減計算書内訳表

自 2021年4月1日
至 2022年3月31日

公益社団法人 日本人間ドック学会

(単位：円)

I. 一般正味財産 増減の部	科目	公益目的事業会計						収益事業等会計				法人会計	内部 取引 控除	合計		
		①学術大会・ 国際学会	②学会誌	③技能検定・資格 認定(認定医・専 門医・機能評価)	④資格付与(情報 管理・食生活改善 指導士研修会)	⑤統計・調査	共通	小計	①指定	②その他事 業	共通				小計	
【1. 経常増減の部】																
(1) 経常収益																
1. 受取会費	1101	個人会員受取会費	0	0	0	0	0	30,543,000	30,543,000	0	3,044,562	0	3,044,562	27,498,438	0	61,086,000
	1102	施設会員受取会費	0	0	0	0	0	26,340,000	26,340,000	327,168	0	0	327,168	26,012,832	0	52,680,000
	1103	賛助会員受取会費	0	0	0	0	0	435,000	435,000	0	0	0	0	435,000	0	870,000
2. 事業収益	1201	学術大会参加収益	42,455,000	0	0	0	0	42,455,000	42,455,000	0	0	0	0	0	0	42,455,000
	1202	学術大会展示出店料収益	2,090,000	0	0	0	0	2,090,000	2,090,000	0	0	0	0	0	0	2,090,000
	1203	学術大会共催セミナー収益	5,610,000	0	0	0	0	5,610,000	5,610,000	0	0	0	0	0	0	5,610,000
	1204	認定医・専門医研修会事業収益	0	0	25,890,000	0	0	25,890,000	25,890,000	0	0	0	0	0	0	25,890,000
	1205	専門医試験・認定事業収益	0	0	5,890,000	0	0	5,890,000	5,890,000	0	0	0	0	0	0	5,890,000
	1206	認定医認定・更新事業収益	0	0	6,930,000	0	0	6,930,000	6,930,000	0	0	0	0	0	0	6,930,000
	1207	情報管理指導士研修認定事業収益	0	0	0	45,409,000	0	45,409,000	45,409,000	0	0	0	0	0	0	45,409,000
	1208	遺伝的検査アドバイザー事業収益	0	0	0	1,820,000	0	1,820,000	1,820,000	0	0	0	0	0	0	1,820,000
	1209	機能評価審査・認定事業収益	0	0	17,370,000	0	0	17,370,000	17,370,000	0	0	0	0	0	0	17,370,000
	1210	指定事業収益	0	0	0	0	0	0	0	2,380,000	0	0	2,380,000	0	2,380,000	
	1211	雑誌販売事業収益	224,000	40,000	588,000	0	0	852,000	852,000	0	0	0	0	0	0	852,000
	1212	国際人間ドック会議会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
3. 受取補助金等	1301	助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	1302	補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
4. 受取寄付金	1401	受取寄付金	500,000	0	0	0	0	500,000	500,000	0	0	0	0	0	0	500,000
	1402	受取寄付金振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
5. 雑収益	1501	受取利息	45	0	0	0	0	45	45	0	0	0	0	10,300	0	10,345
	1502	広告掲載料収益	2,167,000	670,000	0	0	0	2,837,000	2,837,000	0	0	0	0	0	0	2,837,000
	1503	雑収益	0	159,905	1,344,500	0	0	1,504,405	1,504,405	3,527,278	0	0	3,527,278	1,686,450	0	6,718,133
[経常収益計]			53,046,045	869,905	58,012,500	47,229,000	0	57,318,000	216,475,450	6,234,446	3,044,562	0	9,279,008	55,643,020	0	281,397,478
(2) 経常費用																
1. 事業費	2101	給料手当	3,017,026	1,206,810	31,377,068	12,068,103	1,810,216	0	49,479,223	1,810,215	0	0	1,810,215	0	0	51,289,438
	2102	法定福利費	491,328	196,531	5,109,812	1,965,312	294,797	0	8,057,780	294,797	0	0	294,797	0	0	8,352,577
	2103	退職給付費用	165,006	75,123	1,321,186	535,226	89,884	0	2,186,425	105,484	0	0	105,484	0	0	2,291,909
	2104	福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	2105	旅費交通費	140,080	6,460	3,155,186	256,340	184,620	427,180	4,169,866	0	18,000	0	18,000	0	0	4,187,866
	2106	通信運搬費	177,282	7,999,701	1,415,444	2,069,964	352,525	56,835	12,071,751	56,140	22,000	0	78,140	0	0	12,149,891
	2107	減価償却費	8,476	3,391	88,155	139,506	5,086	0	244,614	5,085	0	0	5,085	0	0	249,699
	2108	貯蔵品	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	2109	消耗品費	2,832,053	638,352	44,100	80,000	3	0	3,594,508	0	0	0	0	0	0	3,594,508
	2110	修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	2111	印刷製本費	3,497,238	16,482,887	6,068,096	4,605,994	211,680	0	30,865,895	61,860	0	0	61,860	0	0	30,927,755
	2112	光熱水料費	32,547	13,019	338,485	130,186	19,528	0	533,765	19,528	0	0	19,528	0	0	553,293
	2113	賃借料	487,080	167,332	4,866,852	1,673,320	250,998	0	7,445,582	250,998	0	0	250,998	0	0	7,696,580
	2114	会議費	2,032	0	1,890	11,500	10,427	12,960	38,809	0	581	0	581	0	0	39,390
	2115	保険料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	2116	諸謝金	5,590,677	0	4,322,103	2,730,000	150,000	200,000	12,992,780	0	0	0	0	0	0	12,992,780
	2117	租税公課	2,212,731	34,175	2,442,920	1,988,823	0	0	6,678,649	248,757	0	0	248,757	0	0	6,927,406
	2118	委託費	27,928,433	7,534,560	5,689,077	14,960,200	1,459,551	518,775	58,090,596	2,246	20,901	0	23,147	0	0	58,113,743
	2119	支払助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	2,980,000	0	2,980,000	0	0	2,980,000
	2120	雑費	7,449	154,340	70,250	17,820	104,290	1,650	355,799	592	3,080	0	3,672	0	0	359,471
2. 管理費	2201	給料手当												3,017,026	0	3,017,026
	2202	法定福利費												491,328	0	491,328
	2203	退職給付費用												180,606	0	180,606
	2204	福利厚生費												688,110	0	688,110
	2205	旅費交通費												2,310,716	0	2,310,716

I. 一般正味財産 増減の部	科目	公益目的事業会計							収益事業等会計				法人会計	内部 取引 控除	合計
		①学術大会・ 国際学会	②学会誌	③技能検定・資格 認定(認定医・専 門医・機能評価)	④資格付与(情報 管理・食生活改善 指導士研修会)	⑤統計・調査	共通	小計	①指定	②その他事 業	共通	小計			
2206	通信運搬費												2,451,363	0	2,451,363
2207	減価償却費												2,644,182	0	2,644,182
2208	広告費												12,100,000	0	12,100,000
2209	消耗品費												1,356,815	0	1,356,815
2210	修繕費												0	0	0
2211	印刷製本費												862,640	0	862,640
2212	光熱水料費												32,546	0	32,546
2213	賃借料												600,490	0	600,490
2214	会議費												32,000	0	32,000
2215	保険料												332,785	0	332,785
2216	諸謝金												0	0	0
2217	租税公課												964,230	0	964,230
2218	委託費												4,783,433	0	4,783,433
2219	交際費												0	0	0
2220	雑費												1,007,998	0	1,007,998
[経常費用計]		46,589,438	34,512,681	66,310,624	43,232,294	4,943,605	1,217,400	196,806,042	2,855,702	3,044,562	0	5,900,264	33,856,268	0	236,562,574
■評価損益等調整前当期経常増減額		6,456,607	△ 33,642,776	△ 8,298,124	3,996,706	△ 4,943,605	56,100,600	19,669,408	3,378,744	0	0	3,378,744	21,786,752	0	44,834,904
2810	基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2820	特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2830	投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
[評価損益等計]		6,456,607	△ 33,642,776	△ 8,298,124	3,996,706	△ 4,943,605	56,100,600	19,669,408	3,378,744	0	0	3,378,744	21,786,752	0	44,834,904
【当期経常増減額】		6,456,607	△ 33,642,776	△ 8,298,124	3,996,706	△ 4,943,605	56,100,600	19,669,408	3,378,744	0	0	3,378,744	21,786,752	0	44,834,904
【2. 経常外増減の部】															
(1) 経常外収益															
※固定資産売却益	1910 資産売却益・資産受贈益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
[経常外収益計]		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用															
※固定資産売却損	2910 資産売却損・資産減損損失等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	2911 過年度賞与引当金繰入額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2912 過年度退職給付費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
[経常外費用計]		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
【当期経常外増減額】		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	△ 1	0	△ 1
他会計振替前当期一般正味財産増減額		6,456,607	△ 33,642,776	△ 8,298,124	3,996,706	△ 4,943,605	56,100,600	19,669,408	3,378,744	0	0	3,378,744	21,786,751	0	44,834,903
■他会計振替額	1990	0	0	0	0	0	101,557,410	101,557,410	△ 1,557,410	0	0	△ 1,557,410	△ 100,000,000	0	0
【当期一般正味財産増減額】		6,456,607	△ 33,642,776	△ 8,298,124	3,996,706	△ 4,943,605	157,658,010	121,226,818	1,821,334	0	0	1,821,334	△ 78,213,249	0	44,834,903
【一般正味財産期首残高】		△ 88,006,649	△ 452,131,900	△ 115,403,521	△ 93,442,974	△ 169,891,332	822,299,482	△ 96,576,894	10,199,060	△ 8,617,106	0	1,581,954	294,145,271	0	199,150,331
【一般正味財産期末残高】		△ 81,550,042	△ 485,774,676	△ 123,701,645	△ 89,446,268	△ 174,834,937	979,957,492	24,649,924	12,020,394	△ 8,617,106	0	3,403,288	215,932,022	0	243,985,234

II. 指定正味財産増減の部

	受取補助金等												0		0
												0		0
	一般正味財産への振替額												0		0
【当期指定正味財産増減額】		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
【指定正味財産期首残高】		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
【指定正味財産期末残高】		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

III. 基金増減の部

■基金受入額	基金受入額														
■基金返還額	基金返還額														
【基金増減額】							△ 35,542,406	△ 35,542,406					35,542,406		0
【基金期首残高】		0	0	0	0	0	35,542,406	35,542,406	0	0	0	0	35,542,407		71,084,813
【基金期末残高】		0	0	0	0	0	0	0					71,084,813		71,084,813

【IV正味財産期末残高】		△ 81,550,042	△ 485,774,676	△ 123,701,645	△ 89,446,268	△ 174,834,937	979,957,492	24,649,924	12,020,394	△ 8,617,106	0	3,403,288	287,016,835		315,070,047
--------------	--	--------------	---------------	---------------	--------------	---------------	-------------	------------	------------	-------------	---	-----------	-------------	--	-------------

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 適用している会計基準

「公益法人会計基準」（平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会）を採用している。

(2) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産

建物

定率法（ただし、平成28年4月1日以降に取得した建物付属設備は定額法）

什器備品

定率法

なお、主な耐用年数は次のとおりです。

建物

15年

什器備品

4年～10年

② 無形固定資産

ソフトウェア

定額法

(3) 引当金の計上基準

① 賞与引当金

職員の賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち、当期に対応する額を計上している。

② 退職給付引当金

職員の退職給付に備える為、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。

なお、退職給付債務は、期末自己都合要支給額に基づいて計算している。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込経理を採用している。

2 基本財産及び特定資産の増減及びその残高

特定資産の増減及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
公益目的保有特定資産	0	100,000,000	0	100,000,000
合 計	0	100,000,000	0	100,000,000

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	うち指定正味財産 からの充当額	うち一般正味財産 からの充当額	うち負債に 対応する額
特定資産				
公益目的保有特定資産	100,000,000	—	100,000,000	—
合 計	100,000,000	—	100,000,000	—

3 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建 物	2,906,000	1,809,936	1,096,064
什 器 備 品	10,400,516	3,572,500	6,828,016
合 計	13,306,516	5,382,436	7,924,080

財 産 目 録

2022年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)				
現金預金	振替貯金 ： ゆうちょ銀行(9口座)	支払資金として使用	40,281,835	
	普通預金 ： 三井住友銀行麹町支店(3口座)	支払資金として使用	135,789,970	
	定期預金 ： 三井住友銀行麹町支店	4⑤	30,062,474	
	定額貯金 ： ゆうちょ銀行		10,000,000	
	未収金	特定健診パンフレット・DVD著作権料 学会誌広告掲載料		646,730 300,000
前払金	翌年度事務所賃料 翌年度学術大会前払額 翌年度試験会場費		627,495 5,500,000 506,000	
貯蔵品	機能評価認定プレート		6,352,500	
流動資産合計			230,067,004	
(固定資産)				
特定資産	公的目的保有特定資産	定期預金：大和テキスト銀行	運用益を公的目的事業財源として使用している (公益目的保有財産)	100,000,000
その他固定資産	建物	事務所賃貸造作	事務局及び会議室 公益目的事業に87.5%、収益事業等に 6.25%、法人管理に6.25%使用	1,096,064
	什器備品	パーソナルコンピューター関連 複合機2台 Web会議用備品一式 プロジェクター 電話設備	会員管理・事業管理用 会員管理・事業管理用 会員管理・事業管理用 会員管理・事業管理用 会員管理・事業管理用	3,874,173 1,522,446 57,887 50,688 1,322,822
	ソフトウェア	公益目的事業管理ソフト	会員管理・事業管理用 (公益目的保有財産)	237,600
固定資産合計			108,161,680	
資産合計			338,228,684	
(流動負債)				
	未払金	経費等未払額		1,715,150
	未払消費税等	確定申告納付消費税等未払額		2,241,100
	前受金	次年度事業前受金		9,020,000
	預り金	源泉所得税、住民税 社会保険料 その他	7	291,777 397,340 30,000
	賞与引当金	職員に対するもの	職員の翌年度賞与支給見込額の中の当期 対応額	3,172,237
流動負債合計			16,867,604	
(固定負債)				
	退職給付引当金	職員に対するもの	職員に対する退職金の支払いに備えたもの	6,291,033
固定負債合計			6,291,033	
負債合計			23,158,637	
正味財産			315,070,047	

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表の注記2に記載している通りである。

2. 引当金の明細

(単位：円)

区 分	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高	摘要
			目的使用	その他		
賞与引当金	4,521,135	3,172,237	4,521,135	0	3,172,237	
退職給付引当金	6,150,518	140,515	0	0	6,291,033	